

外部機関による講習

昭和シェル石油株式会社 防災訓練所

昭和シェル石油(株)防災訓練所

1 目的

製油所等におけるリスクマネジメントの観点から、万が一の火災に対し迅速かつ的確に初期消火が行えるよう、社員教育を目的として設置。消火活動の基礎知識や各種災害を想定した実火訓練を行っている。

1993年に運営を開始。自社及び関連企業を始め、他の企業等を受入れており、2016年までの24年間に計6,517名の訓練生を輩出している。

2 所在地

防災訓練所……新潟市東区平和町15番地

(昭和シェル石油(株)新潟石油製品輸入基地構内に併設)

実火訓練施設…新潟市東区平和町3-5

防災訓練所等立地図



Google mapより

3 訓練コース例（※各コース有料）

○平成30年度の訓練コースにつきましては、定員に達しておりますので、ご了承下さい。

- (1) 標準コース（1日半）：10名で実施
 実火による消火体験を経て、油火災の基礎知識や基本的な消火方法を習得する

1日目（13:00~17:00）

講義：火災の基礎知識、消火器の有効操作、事故事例検証

2日目（8:30~17:00）

実火訓練

- | | |
|---------------------|-------------------------------------|
| ① 噴霧放水、粉末消火器による消火訓練 | ポンプ、ドラム、側溝、立ち上がり配管、ラック配管、角槽、タンクローリー |
| ② 泡放水による消火訓練 | 屋外タンク（直径：約3.5m） |
| ③ 現象確認 | ボイルオーバー、噴出したLPGの燃焼実験（気体・液体） |

- (2) ステップアップコース（2日間）：8名で実施
 初期消火失敗時における油火災のコントロールを主として、隊長の指揮・判断力や消火技能の向上を図る

1日目（8:30~17:00）

講義：流出油火災の初期消火

実火訓練

- | | |
|---------------------|---------------------------|
| ① 噴霧放水による延焼拡大防止訓練 | ポンプ、立ち上がり配管、ラック配管、タンクローリー |
| ② 粉末消火器(10型)による消火訓練 | 角槽 |

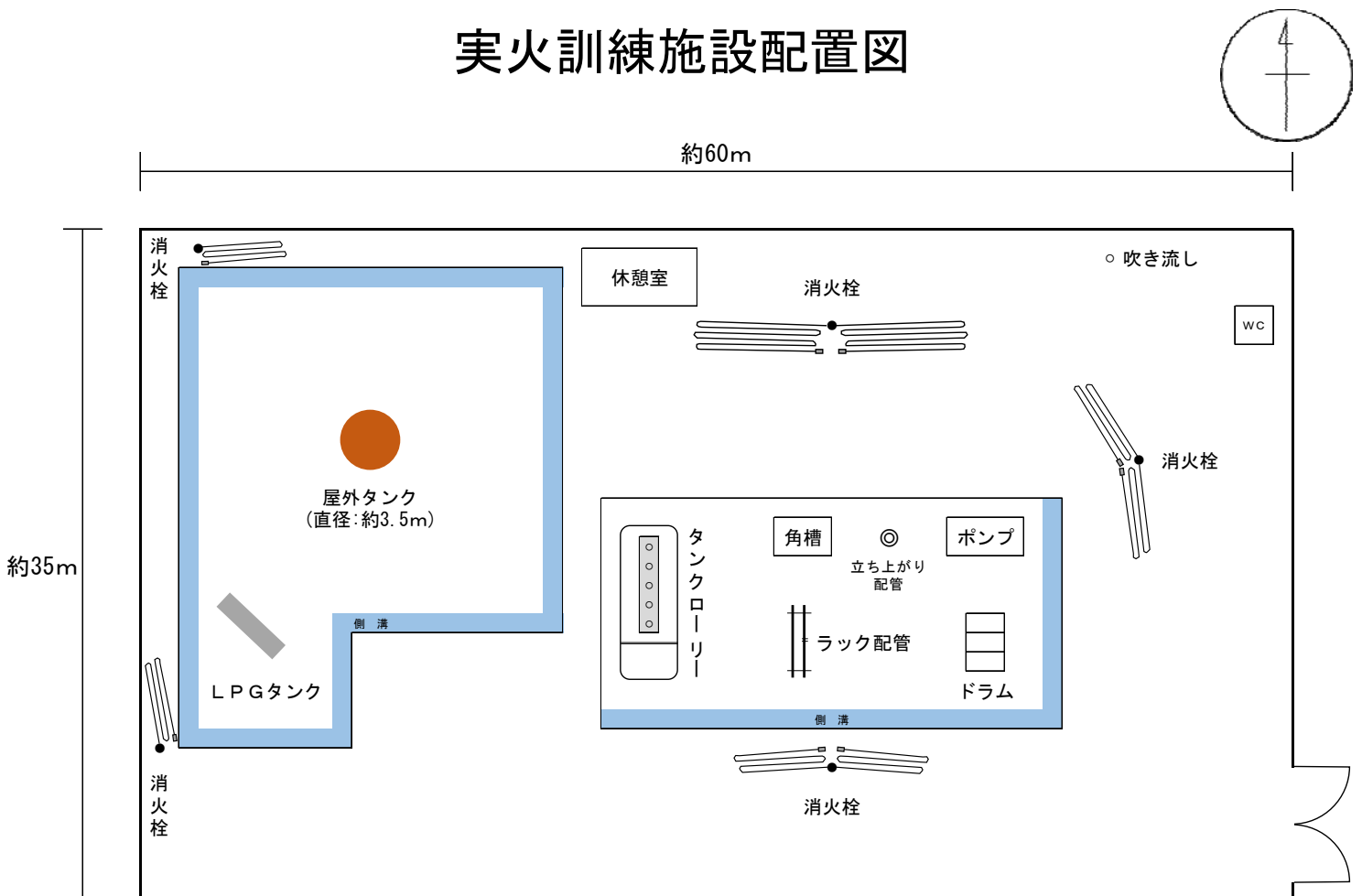
2日目（8:30~17:00）

実火訓練

- | | |
|-------------------------|---------------------|
| ① 粉末消火器(20型)による消火訓練 | 複雑立体物、ラック配管 |
| ② 噴霧放水+粉末消火器による消火訓練 | ポンプ、立ち上がり配管、タンクローリー |
| ③ 噴霧放水+泡放水+粉末消火器による消火訓練 | ポンプ |
| ④ 65mm可変ノズルによる消火訓練 | ポンプ、立ち上がり配管 |

- (3) その他
 ア タンクローリー従事者向け（1日半）
 イ ガソリンスタンド従事者向け（1日間）
 ウ その他（応相談）

実火訓練施設配置図



訓練状況 (ステップアップコース 1日目午後)

写真 1



訓練施設 (敷地南東より撮影)

写真 2



噴霧放水訓練 (40mm可変ノズル)

写真 3



ラック配管火災の消火戦術の確認

写真 4



フランジから油が漏えいして出火

写真 5



延焼拡大防止活動開始時の様子

写真 6



火災の範囲を局所的にした状態

訓練状況 (ステップアップコース 2日目)

写真 7



ラック配管火災を粉末消火器 (20型) 複数同時放射で消火する訓練



写真 8



立ち上がり配管火災を噴霧放水と粉末消火器の連携で消火する訓練

写真 9



ポンプ火災の総合訓練 (噴霧放水+泡放水+粉末消火器)

写真 10



65mm可変ノズルを用いた消火訓練